

## 内科学：代謝疾患

40-031 ビタミン欠乏症で誤っているのはどれか。

1. ビタミンA——夜盲症
2. ビタミンB<sub>1</sub>——末梢神経障害
3. ビタミンC——壊血病
4. ビタミンD——くる病
5. ビタミンK——テタニー

カルシウムの不足

40-055 アミノ酸代謝異常によって生じる疾患はどれか。

1. アジソン病 副腎皮質の機能を低下によっておこる。
2. ウィルソン病 銅代謝異常によっておこる。
3. ポルフィリン症 へムの合成障害。→光過敏症を生じる。
4. クローン病 原因不明：若年発。口腔～肛門の消化管の炎症や潰瘍
5. フェニルケトン尿症 (女子発症部位は小腸末端)  
必須アミノ酸のフェニルアラニンの代謝障害(治療しなると知能障害)

40-075 直接型ビリルビンが増加するのはどれか。

1. 新生児の生理的黄疸
2. 遺伝性球状赤血球症 脾臓での溶血により間接ビリルビンが増加
3. 自己免疫性溶血性黄疸 } 溶血(正常は赤血球の破壊)により間接ビリルビンが増加
4. Rh 血液型の不適合
5. 先天性胆道閉鎖症 肝臓で間接ビリルビンがグルクロン酸と結合して直接ビリルビンとなり胆汁が合成され、胆汁は胆の外に排泄される。胆道閉鎖症ではこの経路が障害されるため直接ビリルビンが増加。

41-050 ビタミン欠乏症で誤っている組合せはどれか。

1. ビタミンA——夜盲症
2. ビタミンB<sub>1</sub>——脚気
3. ニコチン酸——ペラグラ
4. ビタミンD——骨軟化症
5. ビタミンK——血栓症 ビタミンKが欠乏すると血液凝固障害がおこり、出血傾向となる。

41-071 ステロイドの副作用で誤っているのはどれか。

1. ニューロパチー 末梢神経障害、ビタミンB群の欠乏、糖尿病、アルコール多飲、尿毒症などに  
よっておこる。
2. 骨粗鬆症
3. 精神症状
4. 中心性肥満
5. 筋萎縮

44-052 代謝性疾患で誤っている組合せはどれか。

1. 糖原病——グリコーゲン
2. 痛風——尿酸
3. アミロイドーシス——~~グルコース~~ 蛋白であるアミロイドが沈着。(
4. Wilson 病——銅
5. ポルフィリン症——ヘム

44-074 正しい組合せはどれか。 2つ選べ。

1. 性腺刺激ホルモン——Cushing病
2. 甲状腺ホルモン——Basedow病
3. ~~プロラクチン~~——Addison病
4. ~~オキシトシン~~——尿崩症
5. 成長ホルモン——末端肥大症

下垂体前葉から分泌される副腎皮質ホルモン刺激ホルモンの過剰。  
なお、副腎皮質ホルモンの過剰はクッシング症候群。  
副腎皮質ホルモンの分泌低下。  
下垂体後葉から分泌されるバソプレッシンの分泌低下。

↓小児では巨人症

45-P-094 内分泌機能と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 甲状腺機能低下——尿崩症
2. 下垂体前葉機能亢進——クレチン病
3. 下垂体後葉機能低下——糖尿病
4. 副腎皮質機能亢進——Cushing症候群
5. 副腎髓質機能亢進——Basedow病

クレチン病、粘液水腫。  
Cushing病  
尿崩症  
高血圧等

46-A-093 内分泌異常と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 抗利尿ホルモン分泌亢進——尿崩症
2. 副甲状腺機能低下——テタニー
3. 甲状腺機能低下——Basedow病
4. 下垂体前葉ホルモン欠損——先端巨大症
5. 副腎皮質機能低下——Cushing症候群

副甲状腺ホルモン(パラソルモン)の低下により血中Ca<sup>2+</sup>濃度↓  
副甲状腺機能低下(亢進)  
亢進  
先端巨大症(下垂体前葉から分泌される成長ホルモンの過剰)

46-A-096 ビタミンB<sub>1</sub>(チアミン)欠乏によるのはどれか。2つ選べ。

1. 脚気
2. 痛風
3. ペラグラ脳症
4. Mallory-Weiss (マロリー・ワイズ) 症候群
5. Wernicke-Korsakoff (ウェルニッケ・コルサコフ) 症候群

アルコールにより尿酸が増える。  
ニコチン酸(ナイアシン)欠乏  
飲酒ほかによる嘔吐をくり返すことで、胃の噴門部～  
食道下部に裂傷をおこし、吐血するもの。

48-A-078 くる病の症状でないのはどれか。(解なし)

1. 低身長
2. 漏斗胸
3. 骨痛
4. 円背
5. O脚

全ておこることがある。